

アメリカ合衆国 ギルロイ市

Gilroy, California, U.S.A.

アメリカ合衆国

カリフォルニア州 ギルロイ市



★★ 姉妹都市提携の日 ★★

1988年4月18日（昭和63年）



★★ ギルロイ市の概況 ★★

ギルロイ市は、サンフランシスコから南へ 150 km、ハイテクのメッカとして知られるシリコンバレーに隣接する人口約 50,000 人の街です。

米国で生産されるにんにくの約 90% をカリフォルニアの農場が占めており、そのほとんどがギルロイ市周辺で生育、加工のためにギルロイ市へ集まるため、ギルロイ市は『世界のにんにくの首都』と呼ばれています。

毎年7月に開催される「ギルロイガーリックフェスティバル」では、にんにくを使った様々な料理を味わうことができ、世界中から3日間で約 13 万人の観光客が訪れます。

東西を山脈に囲まれた平坦な盆地に広がる街並みは静かで気候は温暖。その立地条件の良さから都市のベッドタウンとしての人気が高く、住宅地や大型ショッピングモールが次々と建設され、人口は年々増加しています。



ギルロイ市一望



ギルロイ市の町並み

★★ 姉妹都市提携の経緯 ★★

交流を始めるきっかけとなったのは、1986年（昭和61年）に放映されたテレビの旅番組でした。番組ではギルロイガーリックフェスティバルの様子が紹介され、その熱気溢れる賑やかな祭りに町づくりのヒントを得た町職員ら4名が、翌年7月にギルロイ市を訪問。ギルロイ市との交流を強く希望し、ロベルタ・ヒューワン市長に交流を打診しました。

当時、「にんにく日本一」の称号を得ていた田子町では、9月に「田子町にんにくとべごまつり」を開催しており、両町の交流の第一弾として、ギルロイ市長やガーリックフェスティバルで選出されるガーリッククイーンら12名を祭りへ招待。一行は、町民の熱烈な歓迎と暖かいもてなしに感激し、9月27日の歓迎レセプションではヒューワン市長が「この日を田子町とギルロイ市とのフレンドシップデーにしたい」と宣言、友好の日が定められました。

翌1988年（昭和63年）、田子町は町制施行60周年を迎える中、第三次田子町総合計画で国際化を掲げ、渡部剛己町長がギルロイ市を訪問、4月18日ギルロイ市議会議場において姉妹都市提携の調印が行われました。



盟約書に署名するヒューワン市長と渡部町長（右端）



旧ギルロイ市役所

【ギルロイ市の姉妹都市】

- ・ 田子町（日本）
- ・ セントクレア（フランス）
- ・ テカテ（メキシコ）
- ・ モンティチェリ・ドンジーナ（イタリア）
- ・ コロール（パラオ共和国）
- ・ アングラ・ド・ヒロイズモ（ポルトガル）



姉妹都市提携盟約書

★★★ 主な交流事業 ★★★

● ギルロイ市友好青年招致事業

ギルロイ市在住の青年を田子町国際交流推進員として採用、1年間勤務。

● 中学生海外派遣事業

田子町の中学生を10名程度ギルロイ市へ派遣、ホームステイ。

● 青少年海外派遣事業

田子町の高校生を10名程度ギルロイ市へ派遣、ホームステイ。

● ギルロイ市高校生短期研修受入事業

ギルロイ市の高校生が田子町で短期研修を受入、一般家庭へホームステイ。

● ギルロイガーリックフェスティバル訪問事業

田子町からガーリックフェスティバルを訪問、ホームステイ。

● 田子町にんにくとべごまつり招待事業

ギルロイ市から田子町へ招待、一般家庭へホームステイ。

● ギルロイ高校コーラス部コンサートの開催

3年に一度ジャパンツアーとして田子町を訪問、コンサートを開催。

※2008年（平成20年）まで実施

★★★ ギルロイ市 ホームページ リンク ★★★

- City of Gilroy（ギルロイ市）
<http://www.cityofgilroy.org/>
- Gilroy Sister Cities Association（ギルロイ市 姉妹都市協会）
<http://www.gilroysistercities.org/>
- Gilroy Garlic Festival（ギルロイ ガーリックフェスティバル）
<http://gilroygarlicfestival.com/>
- Gilroy Welcome Center（ギルロイ ウェルカムセンター）
<http://gilroywelcomecenter.org/>